Panasonic

施工説明書
取扱説明書
保管用

耐衝撃型高天井用照明器具

ホルダ吊具	適合セード		適合HIDランプ
YB16404 YB16424	蛍光形(拡散形)ランプ用	400W用 YK34360 YK34380 YK34365 YK34385	MF200~400・L/BU-P MF250~400・L/BU-SC-2(P) MF200~400・L-J2/BU-PS MF200~400C・L/BU CM150~360F・LS-LW/BU CM150~360F・LSE-W/BU NH110~360F・L(S) NH180~360FD・L HF200~400X BHF250~500W
		1000W用 YK36360 YK36380 YK36385	MF700~1000・L/BU-SC-2 NH660~940F・L NH660FD・L HF700~1000X

適合ランプについて・・・器具としては上記ランプが適合しますが、ご使用にあたっては別途手配の安定器に適合するものをお選びください。

適合セードについて・・・適合以外のセードと組合せて使用しないでください。落下の原因となります。

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 施工は取扱説明書にしたがい確実に行う。
  施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 接地工事（D種接地工事）を確実に行う。　接地に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 安定器別置型です。使用するランプ・電圧・周波数を確認の上、適正なものを選ぶ。
  ランプの破裂・火災の原因となります。
- ランプは器具との適合とランプの使用制限を確認の上、使用する。　ランプの破裂・火災の原因となります。
- 適合以外のルーバ・ガードを組合せて使用しない。　落下の原因となります。
- 下面ガラス枠は使用しない。　落下の原因となります。
- 質量に耐える所にボックスを固定し、器具を確実に取付ける。　不備があると、落下の原因となります。
- 下向き専用器具です。傾斜天井や壁面には取付けない。　落下の原因となります。
- フレキパイプの伸縮を吸収するため、器具内口出線はある程度余裕をもたせる。
  過度の張力が加わると、口出線損傷による感電・火災の原因となります。
- ボールが直接当たる恐れのある場所では使用しない。
  ランプ破損、器具の落下の原因となります。
- 器具の改造は絶対に行なわない。　落下・感電・火災の原因となります。
- 持ち運びや取付工事の際、口出線には張力を加えない。　口出線の損傷による感電・火災の原因となります。
- 器具直下は非常に高温になりますので照射面との距離は1m以上離す。　火災の原因となります。

⚠注意

- 一般屋内用器具です。直接雨や風が当たる場所や湿気のある場所、縦振動の発生する場所、粉じんや腐食性ガスの発生する場所では使用しない。　落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は35℃以上では使用しない。　火災の原因となります。

各部のなまえと取付けかた

⚠警告

施工は、取扱説明書にしたがい確実に行なってください。
施工に不備があると落下、感電、火災の原因となりなす。

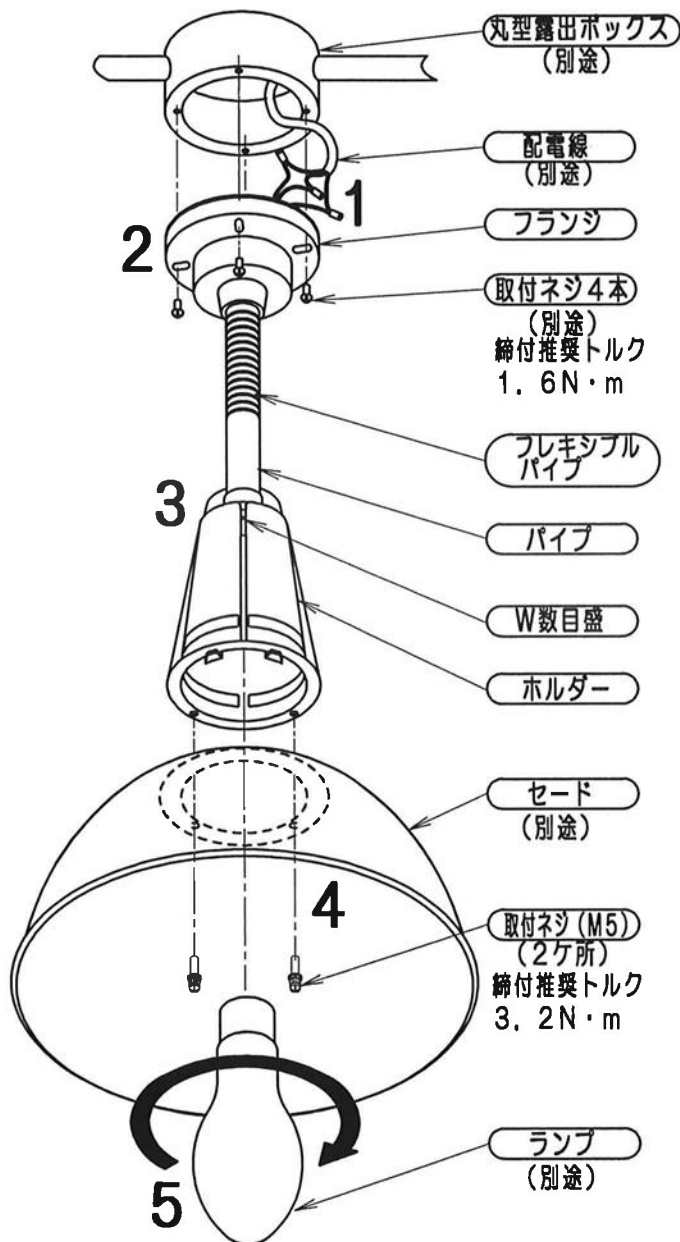
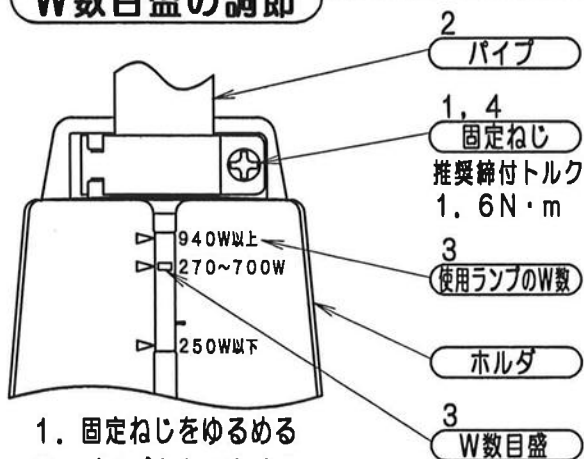
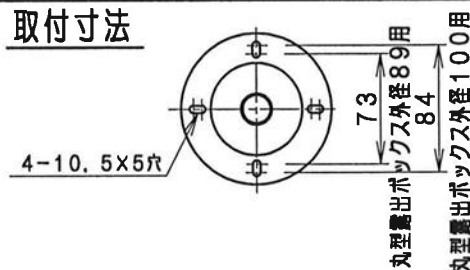
1．電源線の接続

・安定器2次側配電線と口出線とを確実に結線し、接地端子ネジを利用しD種（第三種）接地工事を行なう。

接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

2．ボックスへの取付

・フランジの取付穴4ケ所を取付ネジ（なべ小ねじM4、長さ15～20）、平座金、バネ座金にて確実に固定する。（推奨締付トルク1．6N・m）（トラスネジは使用できません。）

取付に不備があると、器具落下の原因となります。

W数目盛の調節

1．固定ねじをゆるめる
2．パイプを上下させる
3．使用ランプのW数の位置にW数目盛を合わせる
4．固定ねじを締める
（推奨締付トルク1．6N・m）

3．W数目盛の調節

・"W数目盛の調節"を参照

4．セードの取付

・ホルダーのツメをセードに引っ掛け、セード取付ネジ（M5）2ケ所にて確実に固定する。

必ずドライバーで増締めをしてください。（推奨締付トルク3．2N・m）

取付に不備があると、器具落下の原因となります。

5．ランプの取付

・適合ランプをソケットにねじ込む。

取付に不備があると、ランプ落下・火災の原因となります。

工事店様へ	お客様の施設の安全で便利な保守のために、このページの施工記録表の各欄に記入し、使用されるお客様にお渡しくださるようお願いします。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
- ランプ交換は、器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認の上、行う。　ランプの破裂・火災の原因となります。
- 万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると感電・火災の原因となります。
  すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
- 器具直下は非常に高温になりますので照射面との距離は１ｍ以上離す。　火災の原因となります。

⚠注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切り、器具が十分に冷えてから行う。　感電・やけどの原因となります。
- 器具内部に虫がたまった場合はすみやかに取り除く。　発火の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して１０※年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
  点検・交換してください。
  ※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- １年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
  ３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
  点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

保証について

１：保証について
　この商品の保証期間は１年間です。
　但し、ランプ・グロー点灯管・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

２：保証書について
　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

３：補修用性能部品の保有期間
　弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
　補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換　⚠注意

必ず電源を切って行なってください。感電の原因となります。

- 器具の清掃について・・・・汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞って
  ふきとり、乾いた布で仕上げてください。
  ・シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたり
  しないでください。変色、変質の原因となります。
- ランプ交換について・・・・ランプ交換は、器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認の上、行なってください。

お客様へ	ランプ交換など保守のために、下表内容をご確認の上、適切な保守用品をお求めください。なお、安全のために保守作業は、出来るだけ工事店にご依頼ください。

保守・点検のために

＜施工記録＞

器具品番		保守作業上の注意
取付年月日		
使用ランプ品番		
使用安定器品番		

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571－8686　大阪府門真市門真１０４８
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）　0120-878-236（ＦＡＸ）

H0506-100313